

○太陽光発電の事例（福島県須賀川市、石川郡玉川村）

【目的】

国営母畑地区総合農地開発事業で整備したファームポンドの敷地を有効活用して太陽光発電を導入し、ファームポンドの揚水ポンプの電力料金等の維持管理費に売電収入を充当。

【事業概要】

- ・ 実施地域：福島県須賀川市、石川郡玉川村
- ・ 事業主体：母畑地区土地改良区
- ・ 運転開始年度：平成27年度～
- ・ 太陽光発電
 - 最大出力：200kw（50kw×4箇所）
 - 供給先：ファームポンド揚水ポンプ
 - ファームポンド敷地へ設置

ファームポンド発電所
(②)



ファームポンド発電所
(④)



○太陽光発電の事例（山梨県北杜市）^{ほくとし}

【目的】

日照時間に恵まれた山梨県で農地のり面を有効活用した太陽光発電を導入することにより、農村地域の低炭素社会実現を図るとともに、施設を活用した都市農村交流を促進。



育苗施設、ポンプ施設等への供給



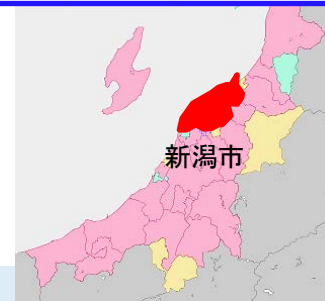
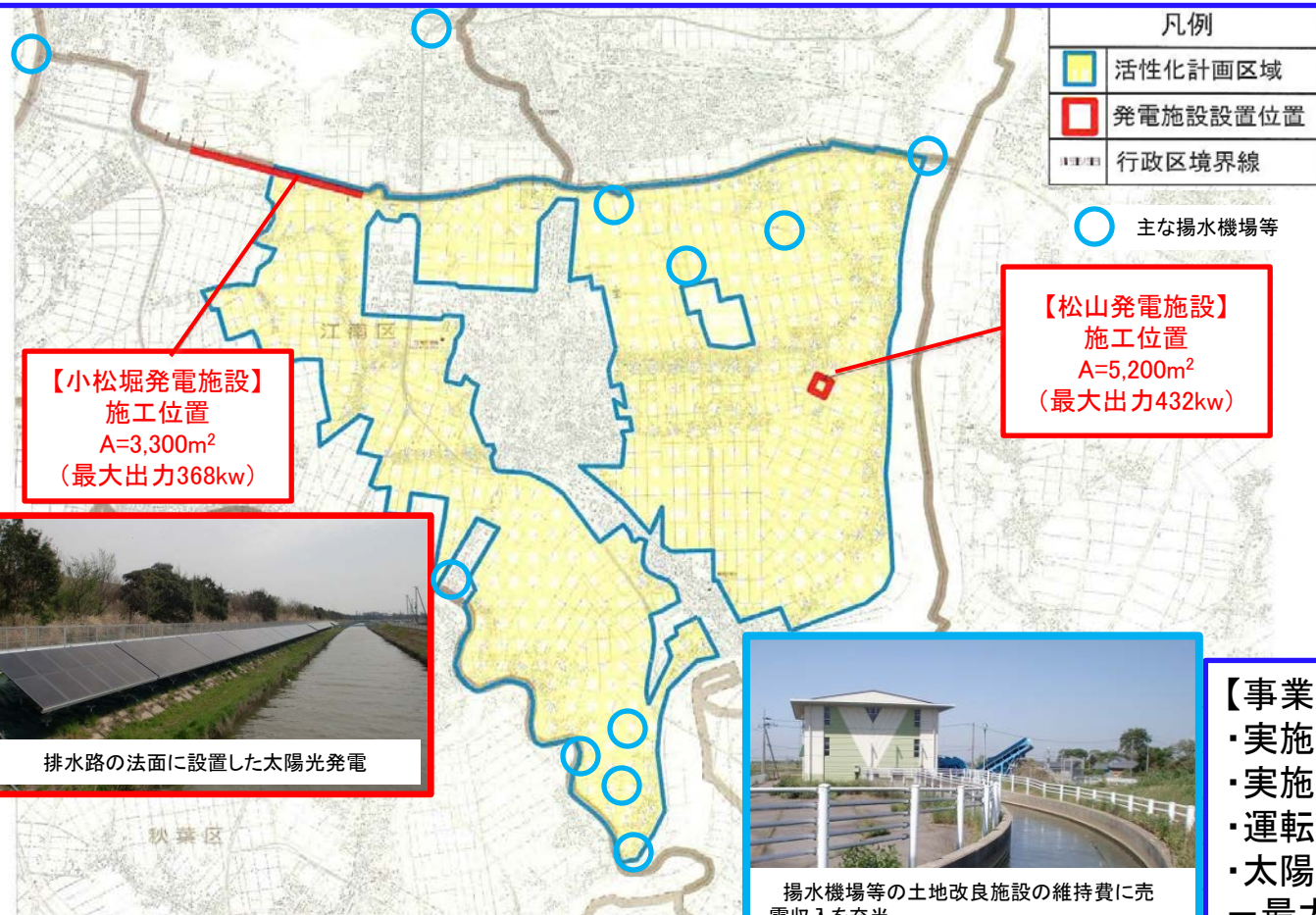
【事業概要】

- ・実施地域：山梨県北杜市
- ・実施主体：山梨県
- ・運転開始年度：平成22年度～
- ・太陽光発電施設：
 - － 最大出力：605kw
 - － 供給先：育苗施設、農業用ポンプ施設等
 - － 農地のり面へ設置

○太陽光発電の事例（新潟県新潟市）

【目的】

土地改良施設の維持管理費軽減のため、土地改良施設用地を活用した太陽光発電を2箇所で行っている。そのうち、小松堀発電施設においては、太陽光パネルの遮光効果により、除草作業の省力化が図られている。



揚水機場等の土地改良施設の維持費に売電収入を充当

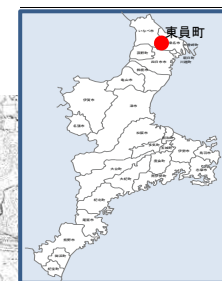
【事業概要】

- ・実施地域: 新潟県新潟市
- ・実施主体: 亀田郷土地改良区
- ・運転開始年度: 平成25年度～
- ・太陽光発電施設:
 - 最大出力: 800kw
 - 売電収入供給先: 土地改良施設の維持費に充当
 - 設置場所: 排水路法面等に設置

○太陽光発電の事例（三重県員弁郡東員町）

【目的】

太陽光発電施設により得られた電力の売電収入を土地改良区が管理する揚水機等の土地改良施設の維持管理費に充当し、農家負担の低減を図るとともに、地域内の小学校を対象とした環境学習の場として活用。



ポンプ施設の維持管理費に充当



太陽光発電施設
施工箇所
A=363㎡

【事業概要】

- ・実施地域：三重県員弁郡東員町
- ・実施主体：員弁川用水第二土地改良区
- ・運転開始年度：平成26年度～
- ・太陽光発電施設：
 - ー最大出力：50kw
 - ー供給先：農業用揚水機等
 - ー排水路法面へ設置

ポンプ施設の維持管理費に充当



環境学習の場として活用



太陽光発電の事例（兵庫県多可郡多可町）^{たかぐん たかちょう}

【目的】

未利用自然エネルギーを活用した太陽光発電によって生み出された電力を、振替供給により地区内の管理事務所及び農業用ポンプ施設へ充当することにより、土地改良区の電力料金低減に寄与し、組合員の維持管理費の負担軽減を図る。



糞屋ダム堤体下の広場を利用した太陽光発電施設

【事業概要】

実施地域：兵庫県多可郡多可町

実施主体：加古川西部土地改良区

運転開始年度：平成27年度～

太陽光発電施設：

- ー最大出力：261kw

- ー供給先：地区内全使用電力年間296,000kwhを
振替供給

- ー設置箇所：糞屋ダム堤体下の広場^{こうじや}



【再生可能エネルギー普及啓発活動を含む農業水利施設見学会を実施】

平成27年度より地域の小学生4年生を対象に、土地改良区が設置した太陽光発電施設において、再生可能エネルギーの普及啓発を目的とした見学会を実施し、併せて農業水利施設の重要性についても学習する場を提供しています。



太陽光発電施設



揚水機場



ダム管理所内操作室

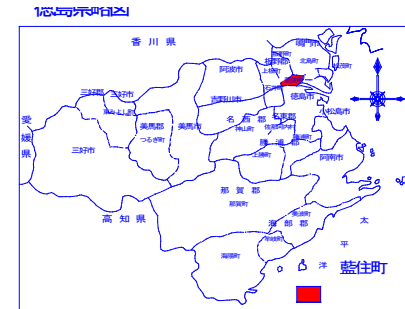
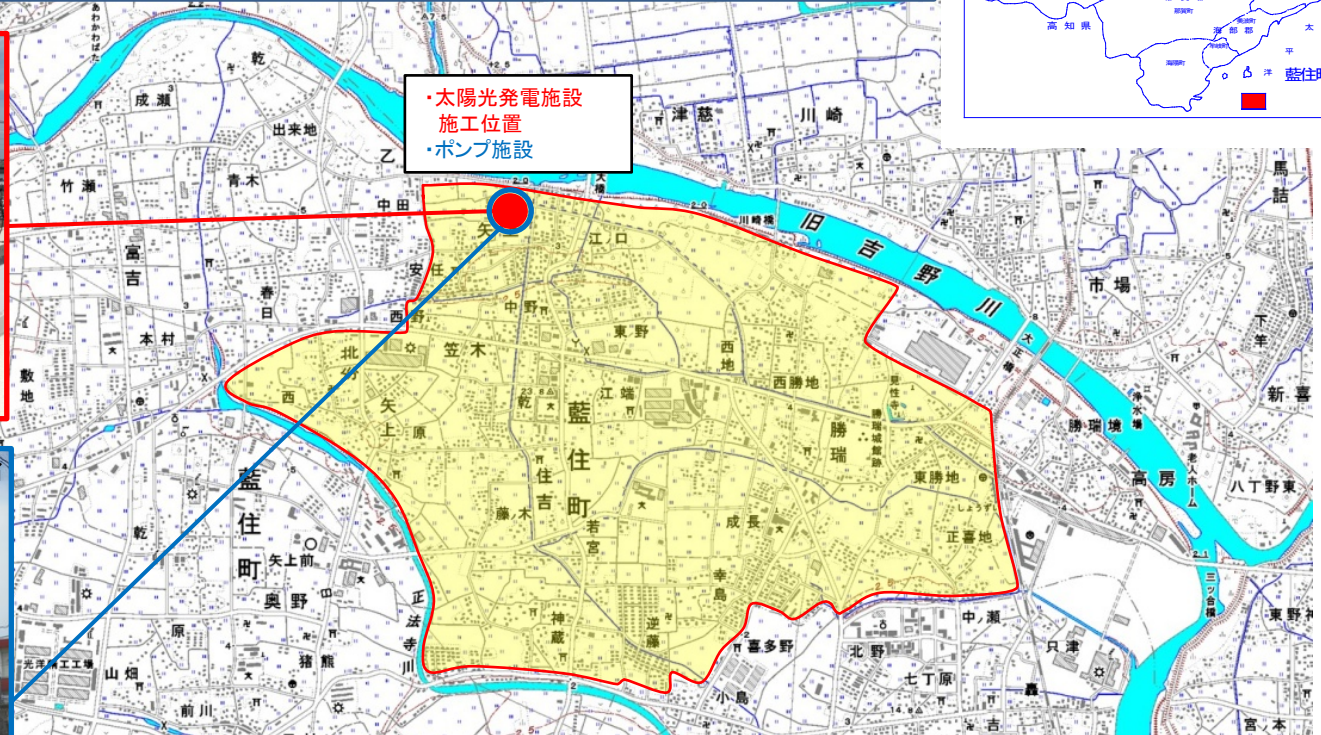
○太陽光発電の事例（徳島県板野郡藍住町）

【目的】

日照時間に恵まれた徳島県で、ポンプ場の屋上を有効利用した太陽光発電施設の整備を行い、農村地域の低炭素社会実現に向けた取組を行うとともに、ポンプ場の維持管理費の軽減と土地改良区の運営基盤の強化を図る。



ポンプ施設への供給



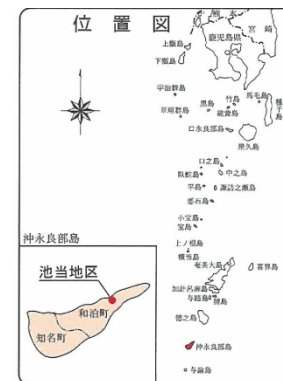
【事業概要】

- ・実施地域：徳島県板野郡藍住町
- ・実施主体：中島用水土地改良区
- ・運転開始年度：平成25年度～
- ・施設概要
 - ・最大出力：17kw
 - ・供給先：農業用ポンプ施設
 - ・ポンプ場屋上へ設置

○太陽光発電の事例（鹿児島県大島郡和泊町）

【目的】

集水池に貯留した農業水を加圧ポンプで各受益に配水を行っており、加圧ポンプの電力の一部を地域資源である太陽光を活用することで資源の効率的な利活用が図られる。



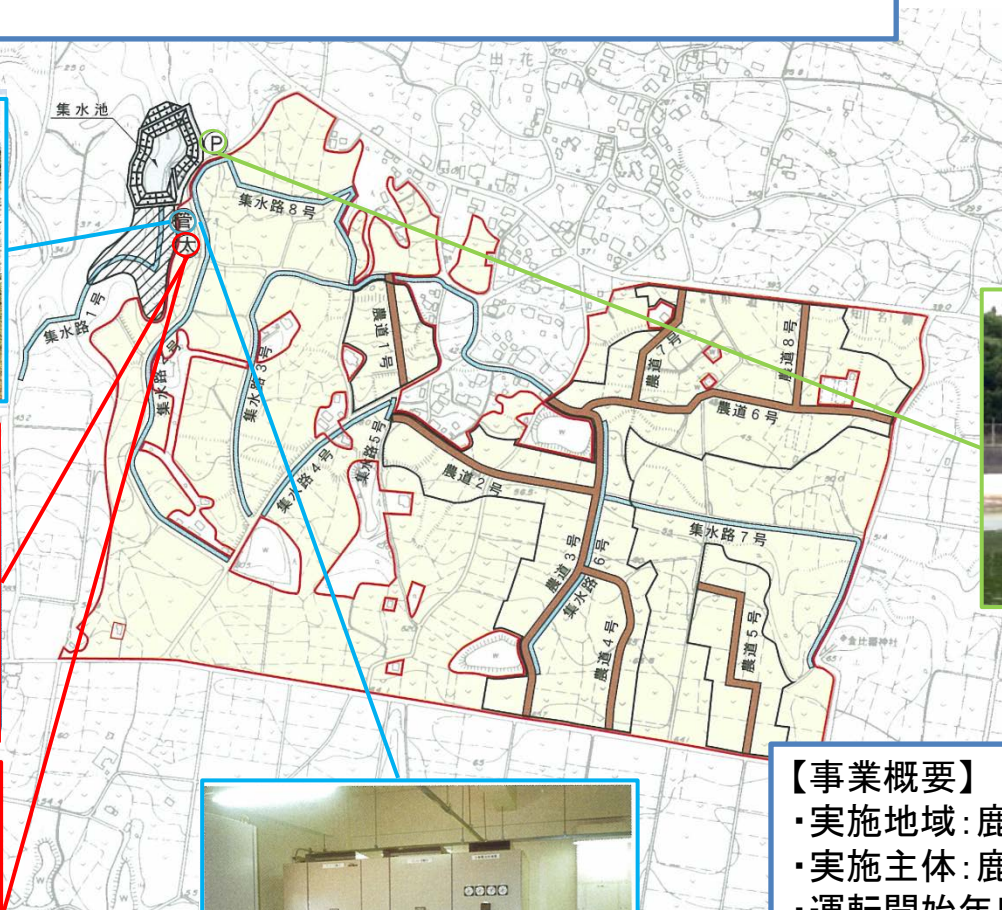
管理室



管理室



パネル690枚



加圧ポンプ



操作盤(受電, 変圧, ポンプ制御)

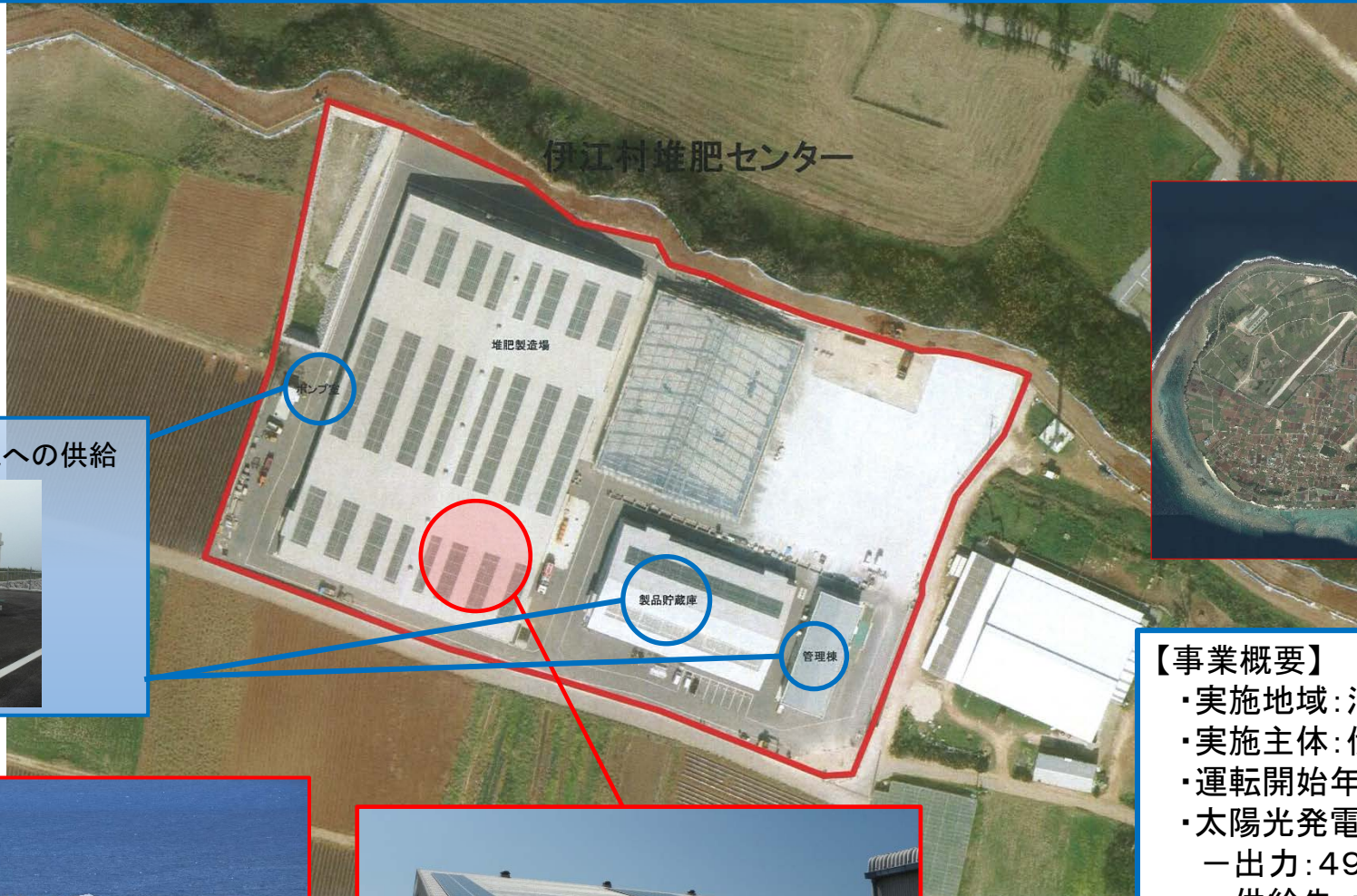
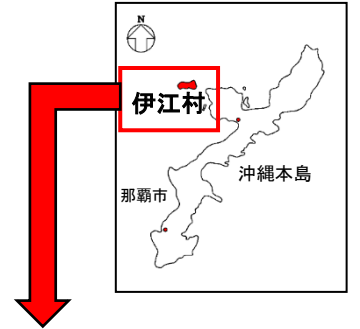
【事業概要】

- ・実施地域: 鹿児島県大島郡和泊町
- ・実施主体: 鹿児島県
- ・運転開始年度: 平成14年度～
- ・太陽光発電施設:
 - ー最大出力: 104kw
 - ー供給先: 管理室(加圧ポンプ制御等)

○太陽光発電の事例（沖縄県国頭郡伊江村）

【目的】

太陽光発電の導入により堆肥センターの必要電力の負担を軽減することで、安価で良質な堆肥の供給が実現できる。このことは農家の経営面において負担軽減が図られ、農家所得の向上及び営農意欲の促進に資する。



ポンプ室、製品貯蔵庫、管理棟への供給



【事業概要】

- ・実施地域：沖縄県伊江村
- ・実施主体：伊江村
- ・運転開始年度：平成27年度～
- ・太陽光発電施設：
 - －出力：49kw
 - －供給先：堆肥センター
 - 製品貯蔵庫、ポンプ室、管理棟等
 - －堆肥製造場の屋根部分へ設置

